



(写真 奈良井宿の町並み)

飯田アカデミア 2016 第 78 講座

「文化的景観」としてみた歴史的町並み

28年10月1日(土)

第1講 10:00 ~ 11:30

「文化的景観」という地域の新しいとらえ方

第2講 13:00 ~ 14:30

「文化的景観」から歴史的町並みをとらえ直す

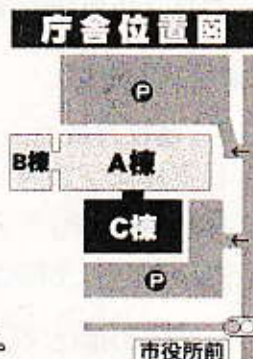
講 師 ● ^{しみず しげあつ} 清水 重敦さん(京都工芸繊維大学准教授)

会 場 ● 飯田市役所C棟3階会議室(飯田市大久保町 2534)

受講料 ● 500 円(資料代)

※1 講義のみでもご参加いただけます。

※受講をご希望の方は、歴史研究所までお申し込みください。当日参加も可能です。



飯田市歴史研究所 〒395-0002 長野県飯田市上郷飯沼 3145
上郷自治振興センター2階
TEL 0265-53-4670 FAX 0265-21-1173 E-mail: iih@city.iida.nagano.jp

「文化的景観」としてみた歴史的町並み

平成28年 **10月1日** 土

第1講 10:00 ~ 11:30

「文化的景観」という地域の新しいとらえ方

第2講 13:00 ~ 14:30

「文化的景観」から歴史的町並みをとらえ直す

講義概要

歴史的町並みの価値付けと保存は、主に伝統的建造物群保存地区制度などによって、建造物の保存を中心に行われてきました。平成 16 年に新しい文化財として設けられた「文化的景観」は、地域を住民の生活・生業に主眼を置いてとらえ直すもので、町並みとその保存にも新しい見方を提供しつつあります。この「文化的景観」という見方から町並みをいかに読み直すことができるでしょうか。(木曽平沢、宇治、岐阜などを事例に)

講師プロフィール

しみず しげあつ
* 講師: 清水 重敦さん (京都工芸繊維大学准教授)

1971年東京葛飾生まれ。

1993年東京大学工学部卒業、1999年同大学大学院工学系研究科博士課程単位取得退学。
奈良文化財研究所景観研究室長を経て、現在京都工芸繊維大学准教授。博士(工学)。

* 主要業績

『建築保存概念の生成史』中央公論美術出版、2013年(建築史学会賞、日本イコモス奨励賞、日本建築学会賞(論文)受賞)。

『擬洋風建築』至文堂、2003年。

『辰野金吾 美術は建築に応用されざるべからず』ミネルヴァ書房、2015年(河上真理と共著)。

これらの他に、高山市下二之町・大新町、塩尻市木曽平沢、五條市新町等の伝統的建造物群保存対策調査、宇治市、岐阜市、京都市、佐渡市、四万十市、葛飾区等の文化的景観調査に関わり、報告書の編集・執筆に携わっている。